

広島県福山市 トークイベント

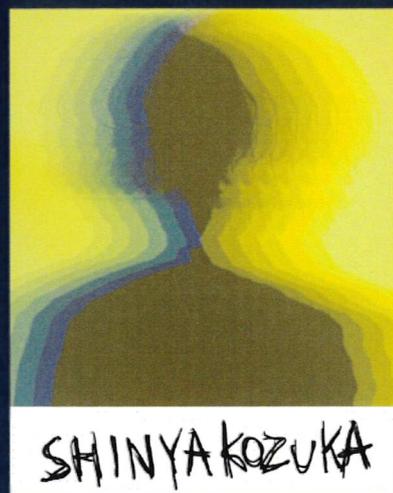
なぜブランドは「産地」へ向かうのか

～福山の工場がクリエイションを刺激し続ける理由～

福山発のデニムは単なる素材ではない。色の落ち方、風合い、触感、動きやすさ。

そして、400年にわたって積み重ねられてきた技術。世界から注目を集めるブランドは、産地の何を感じ取り、それをどのように「デザイン」に変換しているのか。

「SHINYAKOZUKA」クリエイティブディレクター 梶浦慎平氏と福山市のデニム関連事業者が、産地と創作の関係性を、実例を交えて語ります。



ブランドコンセプトは「絵に描いたような情景」
Rakuten Fashion Week TOKYO でのコレクション発表を重ね、2026年1月にはフィレンツェで開催される Pitti Uomo109にゲストブランドとして招かれ、ランウェイショーを発表。国内外で評価を集めている。
代表取締役社長
クリエイティブディレクター **梶浦 慎平氏**

トークショー

18:00～19:30 TALK SHOW



ファッションキュレーター
宮浦 晋哉氏



デニムのイトグチ
篠原 由起氏
株式会社糸編
代表取締役



デニムのイトグチ
湯浅 遼太氏
山陽染工株式会社
新規事業部

DISPLAY

デニム生地&パネル展示

様々なバリエーションのデニムに触れられ、デニムの製造工程も知れる特別展示

MEETUP

参加者交流会 19:30～20:00

生産者のリアルな声を直接聴ける交流会を開催

申込方法

右記の二次元コードにアクセスし、申込フォームよりお申し込みください。

※定員になり次第、申込受付を終了します。

イベント詳細と申込はこちら



2026
03
13
FRI

18:00-20:00

※受付 17:30～

参加費無料

定員

150名 [先着順]

対象

- ・服飾専門学生
- ・デザイナー
- ・ファッション業界関係者
- ・ファッションや産地に興味がある方等

会場

文化服装学院
C091講義室(C館9階)
東京都渋谷区代々木3丁目22-1

デニム生産量日本一 広島県福山市

400年の繊維の歴史 ～受け継がれる技術で時代に合った素材を開発～

福山市では、江戸時代に綿の栽培がきっかけで、日本三大絹の一つである「備後絹」が誕生し、その技術がデニム生産へと発展しました。紡績・染色・織布・加工・縫製・洗いなど、デニム生産の各工程を担う企業が集積し、デニム生産量日本一のまちに成長しました。受け継がれる職人の伝統的な技術と最新の技術を融合させ、国内外から高く評価される高品質のデニムを生み出しています。



備中備後
ジャパンデニム
プロジェクト
詳しくはこちら▶

